

# 地理院地図

## 操作マニュアル

2023年12月1日 更新

国土地理院

■更新履歴

更新日	更新内容
2017年3月14日	地理院地図の改良に伴い本マニュアルを刷新
2017年8月17日	地理院地図の URL を https://~ に変更
2017年8月28日	p.16, 17, 24 に作図・計測機能における選択地点のキャンセル方法を、p.24 に詳細マニュアルへの案内を追記
2017年10月10日	p.42 に検索結果の位置について追記
2018年3月8日	地理院地図の改良に伴い本マニュアルを刷新
2019年3月26日	地理院地図の改良に伴い本マニュアルを刷新
2019年9月26日	p.53 WebGL 用ダウンロードについて記載内容を更新
2020年3月5日	地理院地図の改良に伴い本マニュアルを刷新
2021年3月22日	地理院地図の改良に伴い本マニュアルを刷新
2021年5月19日	p.24, 25 に等角航路について追記 p.31, 33 に緯度経度の入力形式について追記
2021年7月12日	p.48 外部タイル読込について記載内容を更新
2021年7月28日	p.30 ファイルから読込について追記
2021年11月19日	p.12 印刷画面のタイトルについて追記
2022年3月22日	地理院地図の改良に伴い本マニュアルを刷新
2022年7月6日	検索に関する記載内容を修正 OBJ ファイルについて追記
2023年9月14日	p.52 地理院地図 Globe 詳細ページの URL を修正
2023年12月1日	p.14 SNS 名変更に伴う修正

## ■目次

機能概要 .....	5
1. 「地図」ボタン .....	8
1.1 ベースマップ .....	9
1.2 地図の種類 .....	9
1.3 選択中の地図 .....	11
2. 検索 .....	12
3. 印刷 .....	13
4. 共有 .....	14
4.1 画像として保存 .....	15
表示されている範囲全体 .....	15
範囲を固定 .....	16
大きさを固定 .....	16
4.2 QR コード .....	18
4.3 名前を付けて一時保存 .....	19
4.4 サイトに埋込 .....	19
5. 設定 .....	20
6. ツール .....	22
6.1 作図・ファイル .....	22
6.1.1 マーカー(アイコン)を追加 .....	23
6.1.2 マーカー(円)を追加 .....	27
6.1.3 線を追加 .....	28
6.1.4 ポリゴンを追加 .....	29
6.1.5 円を追加 .....	31
6.1.6 テキストを追加 .....	32
6.1.7 フリーハンドで線を追加 .....	33
6.1.8 ファイルから読込 .....	34
6.1.9 外部からの読込 .....	38
6.1.10 選択している情報をまとめて保存 .....	39
6.1.11 作図・ファイル情報の管理 .....	40
6.2 計測 .....	41
6.2.1 距離の計測 .....	41
6.2.2 面積の計測 .....	41
6.2.3 選択図形の計測 .....	42
6.2.4 図形を複数選択して計測 .....	42
6.3 断面図 .....	43
6.4 並べて比較 .....	45

6.5 重ねて比較.....	45
6.6 3D .....	46
6.6.1 3D 表示 .....	46
6.6.2 3D データのダウンロード.....	49
6.6.2.1 STL.....	49
6.6.2.2 VRML.....	49
6.6.2.3 WebGL .....	50
6.6.2.4 OBJ.....	51
6.7 Globe.....	52
6.8 その他.....	52
6.8.1 その他の地図 .....	53
6.8.2 場所情報コード .....	53
6.8.3 外部タイル.....	54
7. コンテキストメニュー(住所, 経緯度, 標高, UTM ポイントの表示).....	55
8. 自分で作る色別標高図.....	56
9. ウィンドウの最小化 .....	58
10. 空中写真の時系列切替え表示.....	59

## 機能概要

地理院地図の主な機能は、以下の通りです。それぞれの機能については、各項目の詳細記事で解説しています。

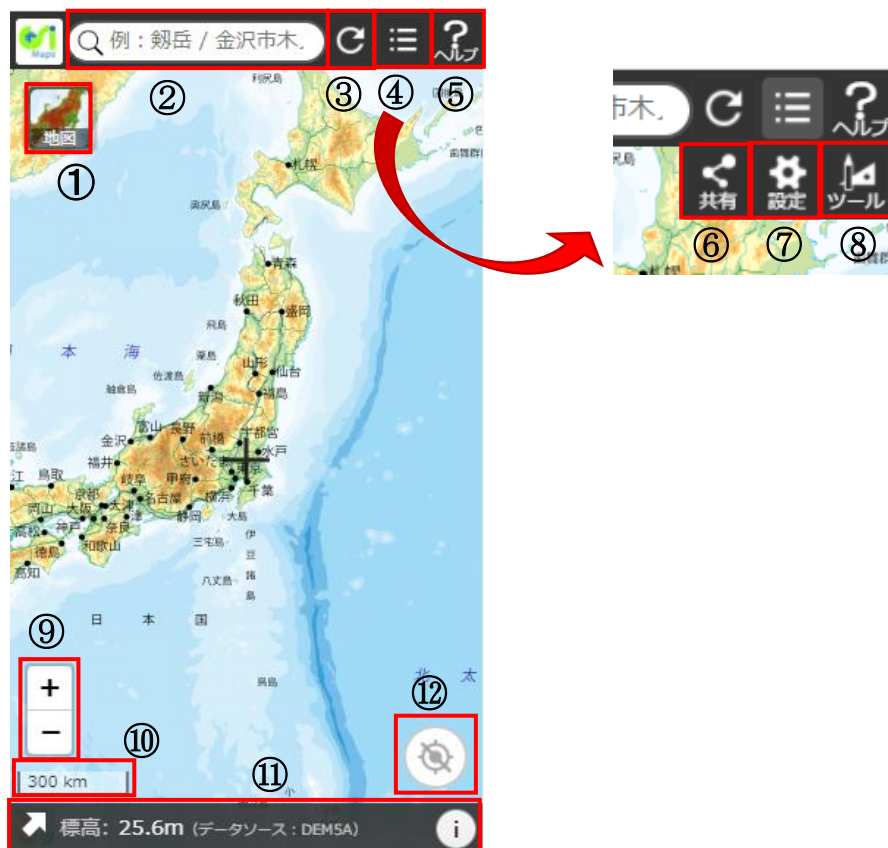
- 地図を自由にスクロールして表示する機能
- 国土地理院等が提供する様々な地理空間情報を地図上に表示する機能
- 地図の中心に関する様々な情報（住所、経緯度、標高、UTM ポイント）を表示する機能
- 磁北線や各種グリッドを地図上に表示する機能
- 地図上に線や多角形等の図形を追加し、ファイルとして保存・読込する機能
- 地点間の距離や領域の面積を求める機能
- 地図の表示画面を画像として保存する機能
- スマートフォン等の GPS 機能を利用して現在位置を表示する機能
- 地図の 3D 表示や 3D データを作成する機能
- 地名・住所・緯度経度・UTM ポイントで位置を検索する機能
- 経路を指定し断面図を表示する機能
- 地図を 2 画面に分割表示する機能

地理院地図（PC版）の画面構成は下図の通りです。図中に付番された部分については、その下の表に、名称、簡易機能解説および詳細解説の場所を示しています。



No.	名称	簡易機能解説	詳細解説
①	「地図」ボタン	地図上に表示可能な情報を集約	<a href="#">1.</a>
②	検索バー	地名・住所・経緯度等による検索	<a href="#">2.</a>
③	初期表示ボタン	地図の表示を初期状態に戻す	本項
④	印刷ボタン	現在の地図を印刷	<a href="#">3.</a>
⑤	共有ボタン	共有パネルを表示	<a href="#">4.</a>
⑥	設定ボタン	設定メニューを表示	<a href="#">5.</a>
⑦	ツールボタン	各種機能メニューを表示	<a href="#">6.</a>
⑧	ヘルプボタン	ヘルプページを表示	本項
⑨	地理院地図 Vector	地理院地図 Vector を表示	本項
⑩	ズームイン/ ズームアウト	+でズームイン、-でズームアウト スライダーでズームレベル変更	本項
⑪	スケール	地図中心の緯度におけるスケールを表示	本項
⑫	コンテキスト メニュー	地図中心の情報を表示 (住所, 経緯度, 標高, UTM ポイント)	<a href="#">7.</a>

地理院地図（モバイル版）の画面構成は下図の通りです。

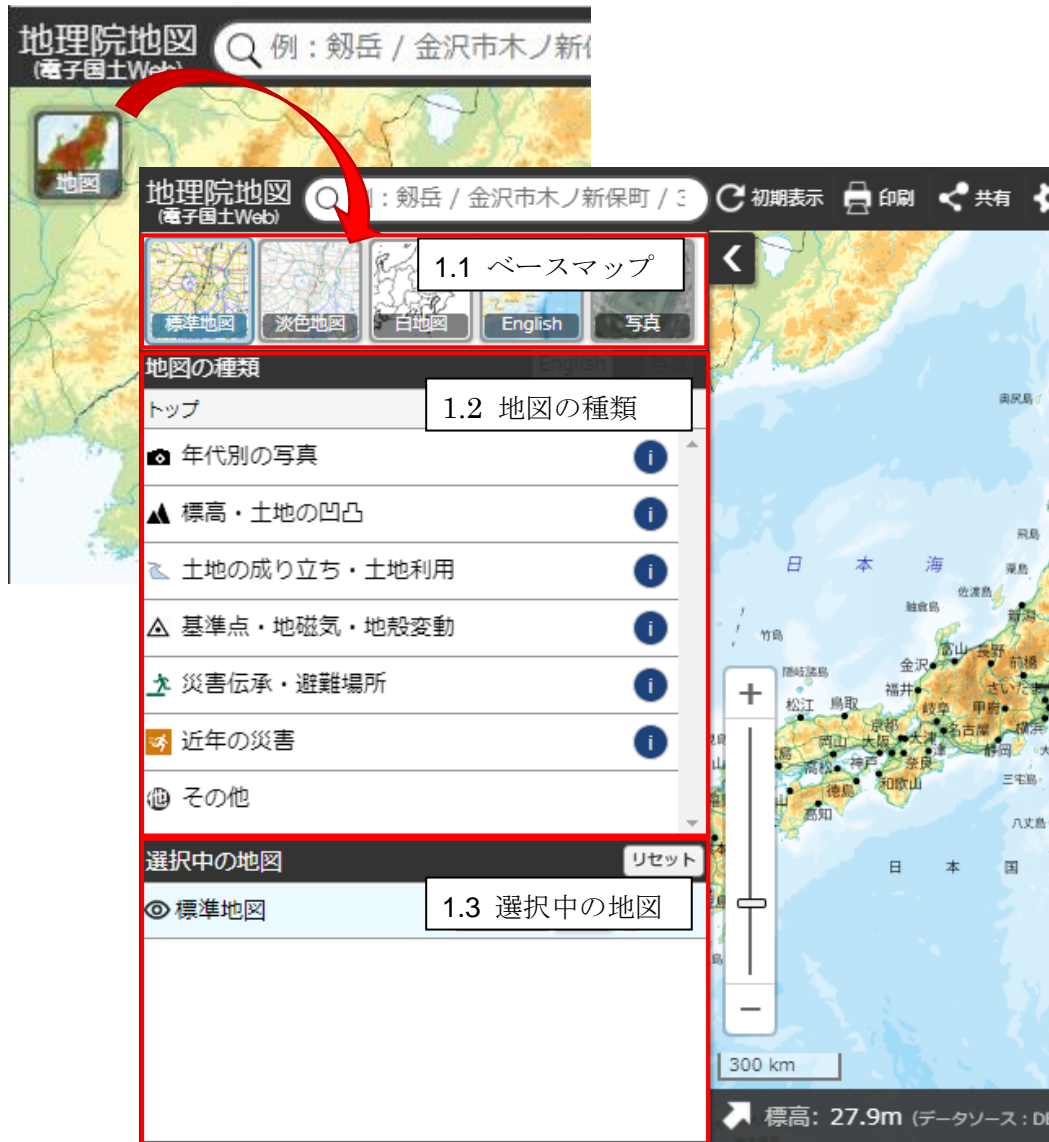


No.	名称	簡易機能解説	詳細解説
①	「地図」ボタン	地図上に表示可能な情報を集約	<a href="#">1.</a>
②	検索バー	地名・住所・経緯度等による検索	<a href="#">2.</a>
③	初期表示ボタン	地図の表示を初期状態に戻す	本項
④	メニューボタン	共有、設定、ツールを表示	本項
⑤	ヘルプボタン	ヘルプページを表示	本項
⑥	共有ボタン	共有パネルを表示	<a href="#">4.</a>
⑦	設定ボタン	設定メニューを表示	<a href="#">5.</a>
⑧	ツールボタン	各種機能メニューを表示	<a href="#">6.</a>
⑨	ズームイン／ ズームアウト	+でズームイン、-でズームアウト	本項
⑩	スケール	地図中心の緯度におけるスケールを表示	本項
⑪	コンテキスト メニュー	地図中心の情報を表示 (住所、経緯度、標高、UTMポイント)	<a href="#">7.</a>
⑫	現在位置ボタン	常に現在位置を地図中心に表示。現在位置機能をONにしたまま移動すると、常に現在位置が地図の中心になるように地図が移動します。	本項

## 1. 「地図」ボタン

「地図」ボタンをクリックすると、情報パネルが開きます。表示したい情報（レイヤ）を選択すると、地図上に重ね合わせられます。

選択したレイヤは、「選択中の地図」から、表示／非表示、透過率の調整等ができます。





## 1.1 ベースマップ

ベースマップを選択して表示します。

もう一度クリックすると、選択を解除できます。

## 1.2 地図の種類

レイヤを選択して表示します。

レイヤ名をクリックすると、地図上にそのレイヤが重ね合わせられます。フォルダをクリックすると1つ下の階層を表示できます。

①

②

③

④

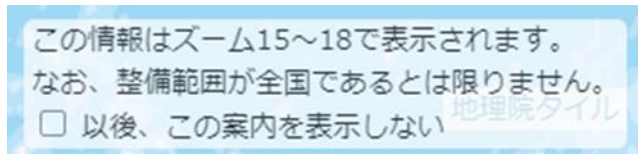
フォルダをクリックすると1つ下の階層を表示します。

No.	名称	説明
①	階層	リンク付きの階層情報を表示します。
②	フォルダ	クリックすると当該フォルダに含まれるレイヤを表示します。
③	レイヤ	クリックすると当該レイヤの地図上への表示／非表示が切り替わります。
④	「i」ボタン	レイヤの解説や凡例などが表示されます。

・表示ズームの案内について

レイヤを選択した際、その時点でのズームが選択レイヤの表示ズームレベルの範囲外であった場合に画面右下に表示ズームの案内が表示されます。

例



※一部レイヤでは、表示ズームの案内は表示されません。

※表示ズームの案内は表示されてから3秒程度で自動的に消えます。

「以後、この案内を表示しない」チェックボックスを選択すると表示ズームの案内は表示されないようになります。

再度表示させたい場合は [5.設定](#) の「表示ズームの案内」を ON にすることで表示されます。

### 1.3 選択中の地図

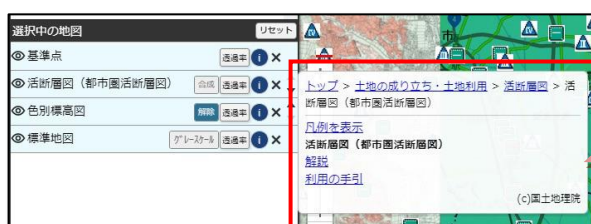
現在選択されているレイヤの一覧を表示します。



No.	名称	説明
①	リセットボタン	選択中のレイヤを全て削除し、標準地図のみにします。
②	表示／非表示	レイヤ名をクリックすると、そのレイヤの表示／非表示を切り替えられます。
③	合成／解除	対象のレイヤより下にあるレイヤ（画像タイルのみ）と、乗算合成を行います。
④	グレースケール	グレースケールの ON/OFF を切り替えます。 ※ 「ベースマップ」のみ。（android では不可）
⑤	透過率	クリック後に表示されるスライダーで、レイヤの透過率が設定できます。
⑥	「i」ボタン	レイヤの解説や凡例などが表示されます。（※1）
⑦	レイヤ順変更	対象のレイヤについて、▲をクリックすると1つ上に、▼をクリックすると1つ下に移動できます（画像タイルのみ）。
⑧	削除	対象のレイヤを「選択中の情報」から削除します。

「ベースマップ」は常に「選択中の情報」の最下層に表示されます。

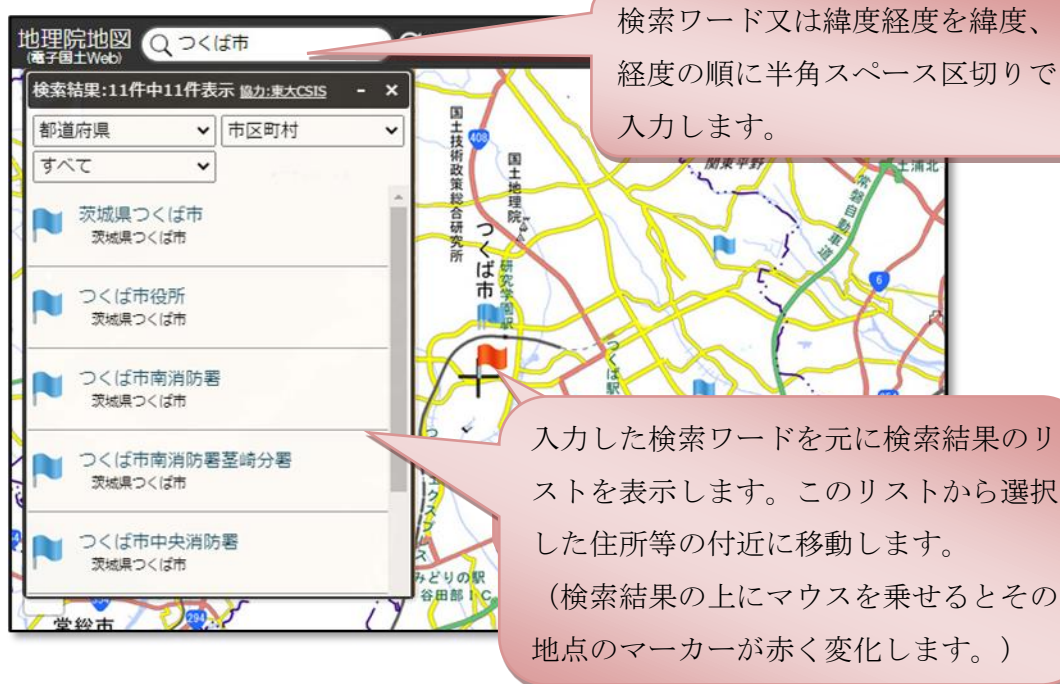
(※1) 「i」ボタンをクリックすると表示される情報について



レイヤの階層情報、解説、凡例、コピーライトなどが表示されます

## 2. 検索

住所や地名、経緯度、UTMポイントで検索し、その位置を地図上で表示します。



検索手順は次の通りです。

- (1) 検索ワード入力ボックスに検索したい住所等を入力し、キーボードの「Enter」キーを押すか、Qをクリックします。
- (2) 緯度経度の場合、その地点へ地図が移動します。その他の文字列の場合は検索結果を表示するダイアログが開きます。
- (3) 都道府県・市区町村・すべて/居住地名/居住地名以外で絞り込みたい場合はセレクトボックスからそれぞれ選択します。
- (4) 検索結果の上にマウスを乗せると、その地点のアイコンが変化します。
- (5) 検索結果をクリックすると、地図の中心がその地点へ移動します。

緯度経度の入力は下記の3種類に対応しています。

- ・緯度・経度を半角スペース区切り、度単位で入力 (35.0821 125.193 等)
- ・緯度・経度を半角カンマ区切り、度単位で入力 (35.0821,125.193 等)
- ・緯度・経度をスペース区切り、度分秒で入力 (35 度 1 分 30 秒 135 度 2 分 12 秒等)

住所で検索した場合、街区レベル(「〇〇町△丁目□番」)、大字・町丁目レベル、市区町村レベルの代表地点を指す場合があるため、指定した住所の正確な地点を示すとは限りません。

### 3. 印刷

印刷用のレイアウトは下図のとおりです。印刷ボタンをクリックすると印刷用のページになります。

The screenshot shows the GSI Maps web interface. At the top, there is a title field containing 'タイトル' and a '印刷' (Print) button. Below the title field, there is a dropdown menu for '用紙サイズ' (Paper Size) set to 'A4縦(標準)' and a '元の画面に戻る' (Return to original screen) button. A note below these controls states: 「用紙サイズ」で選択したサイズや向きで印刷するには、プリンターのプロパティで用紙サイズや向きを設定する必要があります。なお、地図はこのページでも印刷できます。 To the right of the map, there is a checkbox labeled '方位記号を追加' (Add orientation symbol) which is checked. The map itself shows a topographic view of Japan with various labels for cities and regions. A scale bar for 300 km and a compass rose are located in the bottom right corner of the map area.

Callout 1: タイトルを記載できます。

Callout 2: 印刷を開始します。

Callout 3: 元の画面に戻ります。

Callout 4: 用紙サイズ・向き・画質に合わせて選択します。

Callout 5: 地図の右下に方位記号を追加します。

## 4. 共有

現在表示している地図を共有します。

PC 版



モバイル版



No.	名称	説明
①	Facebook	現在表示中の地図の URL を Facebook に投稿します。
②	X	現在表示中の地図の URL を X に投稿します。
③	画像として保存	「 <a href="#">4.1 画像として保存</a> 」参照。
④	QR コード	「 <a href="#">4.2 QR コード</a> 」参照。
⑤	名前を付けて一時保存	「 <a href="#">4.3 名前を付けて一時保存</a> 」参照。
⑥	サイトに埋め込み	「 <a href="#">4.4 サイトに埋込</a> 」参照。
⑦	地図の URL	現在表示中の地図の URL を表示しています。
⑧	メール送信	現在表示中の地図の URL をメールで送信します。

## 4.1 画像として保存

表示中の地図の「表示されている範囲全体」もしくは、「範囲を固定」、「大きさを固定」して画像を生成します。

### 表示されている範囲全体

現在表示している範囲全体を画像として保存します。

The image shows a software interface for saving a map as an image. The main dialog box is titled '画像にする範囲を選択' (Select the range to save as an image). It has three radio button options: '表示されている範囲全体' (Selected), '範囲を固定' (Fixed range), and '大きさを固定' (Fixed size). Below these is an 'OK' button. A callout box points to the '表示されている範囲全体' option with the text: 「表示されている範囲全体」にチェックを入れます。 (Check the 'displayed range' option).

Below the main dialog is a secondary dialog box titled 'ファイルを保存する準備が整いました' (File save preparation complete). It contains two checked checkboxes: '画像に「地理院地図」クレジットを表示' (Show 'Geospatial Information Authority of Japan' credits) and '画像にスケールバーを表示' (Show scale bar). There are two buttons: '画像を保存' (Save image) and 'ワールドファイルを保存' (Save world file). A callout box points to the '画像を保存' button with the text: 画像のワールドファイル※を保存します。 (Save the world file※ of the image). Another callout box points to the 'ワールドファイルを保存' button with the text: 範囲を指定して画像を保存します。 (Save the image by specifying the range). A third callout box points to the 'ワールドファイルを保存' button with the text: 画像ファイルを PNG 形式で保存します。 (Save the image file in PNG format).

At the bottom of the secondary dialog, there is a note: ※保存したファイルは、国土地理院コンテンツ利用規約に従ってご利用ください。 (Please use the saved files in accordance with the Geospatial Information Authority of Japan Content Usage Terms.) Below this note are two links: [地理院タイルのご利用について](#) and [ワールドファイルについて](#).

※「表示されている範囲全体」の場合は、画像にスケールバーが表示されるため「画像にスケールバーを表示」チェックボックスは表示されません。

## 範囲を固定

緯度経度の範囲を固定して画像として保存します。

画像にする範囲を拡大・縮小します。

「範囲を固定」にチェックを入れます。

緯度経度の範囲を入力します。

緯度: 31.874101 ~ 40.897725  
経度: 132.583008 ~ 143.833008  
大きさ: 256×256

OK

画像にする範囲をドラッグして移動します。

## 大きさを固定

大きさを固定して画像として保存します。

画像にする範囲を拡大・縮小します。

「大きさを固定」にチェックを入れます。

画像の大きさを入力します。

大きさ: 256 × 256  
緯度: 30.826781 ~ 39.977120  
経度: 133.110352 ~ 144.360352

OK

画像にする範囲をドラッグして移動します。



※ GIS ソフトで入力する際の EPSG コードは「3857」を指定してください。

このワールドファイルは簡易に作成されたファイルですので、参考程度にお使いください。

※非常に大きな領域を保存しようした場合や、作図データのファイルサイズが大きい場合は、画像を保存できないことがあります。

**【参考】** OS（パソコン）に備わっている画面キャプチャの機能をご利用いただくことも可能です。画面キャプチャ機能の詳細については、下記のリンク等、各 OS のサイト等をご参照下さい。

**【Windows10 / Windows8.1 / Windows7】**

[Snipping Tool を使ってスクリーンショットをキャプチャする](#)

**【OS X】** [OS X:スクリーンショットを撮る方法](#)

## 4.2 QR コード

現在表示している地図 URL の QR コードを生成します。

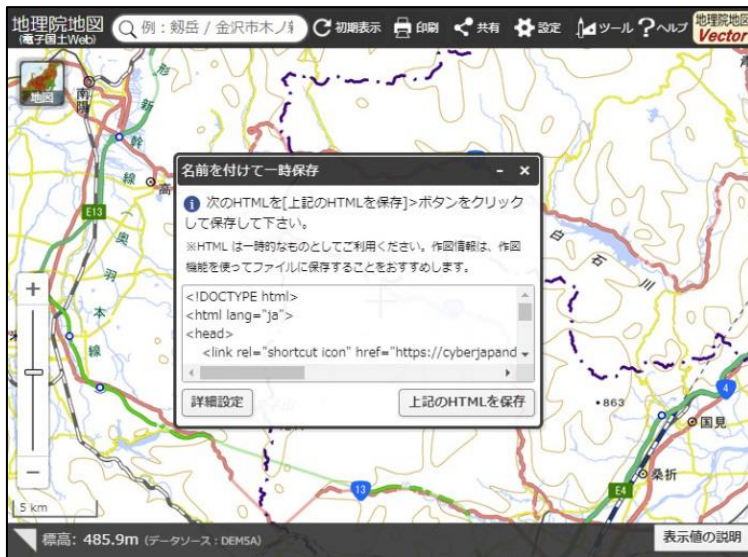


①	作成する QR コードの前景色を指定します。
②	作成する QR コードの背景色を指定します。
③	作成する QR コードの大きさを指定します。
④	作成された QR コード
⑤	保存する画像形式を PNG, JPEG から選択します。
⑥	⑤で指定した形式の QR コード画像をダウンロードします。

※QR コードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です

### 4.3 名前を付けて一時保存

現在表示している地図の緯度経度・ズームレベル・表示しているレイヤ・作図情報を保持した HTML ファイルを保存します。



このファイルをウェブブラウザで開くことによって、現在表示中の地図の状態が復元されます。  
※ 「名前を付けて一時保存」の HTML ファイルは、一時的なものとしてご利用いただけます。作図情報は作図機能でファイルに保存することをおすすめします。

### 4.4 サイトに埋込

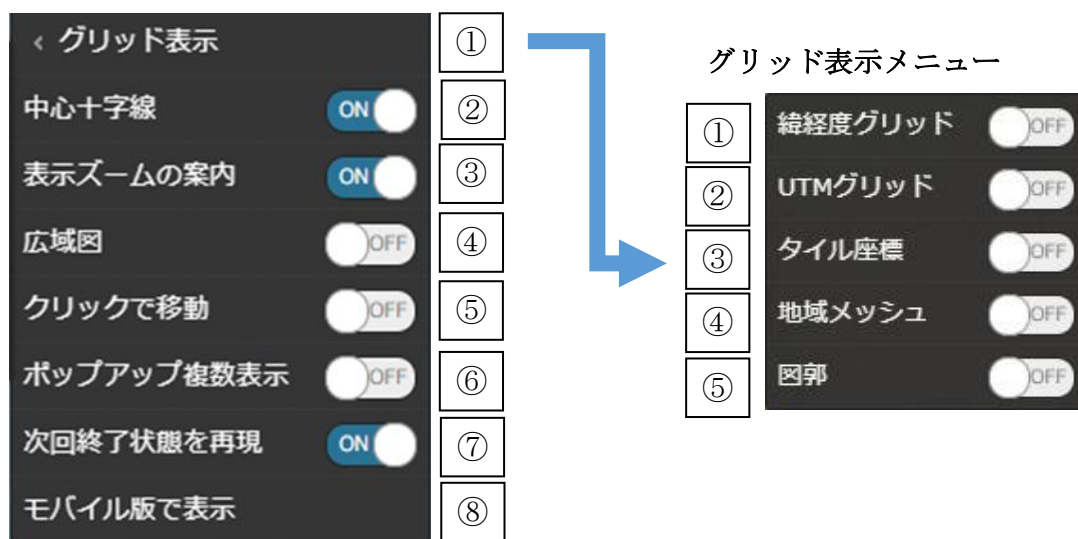
現在表示中の地図をウェブサイトに埋め込むための HTML タグを取得します。



※ 作図結果は反映されません。

## 5. 設定

地図上の各種表示を切り替えます。



No.	名称	説明
①	グリッド表示	グリッド表示メニューを表示します。
②	中心十字線	地図中心の十字マークの表示／非表示を切り替えます。
③	表示ズームの案内	表示ズームの案内の表示／非表示を切り替えます。
④	広域図	広域図の表示／非表示を切り替えます。
⑤	クリックで移動	クリックで移動するかどうかを切り替えます。 ONにした場合、地図上をクリックするとその場所が地図の中心にくるように移動します。
⑥	ポップアップ複数表示	吹き出しを複数同時に表示するかどうかを切り替えます。
⑦	次回終了状態を再現	ONにした場合、次回、前回の終了位置から表示していた地図が表示されます。(cookie を利用しています)
⑧	モバイル版で表示	モバイル版を表示します。

## グリッド表示メニュー

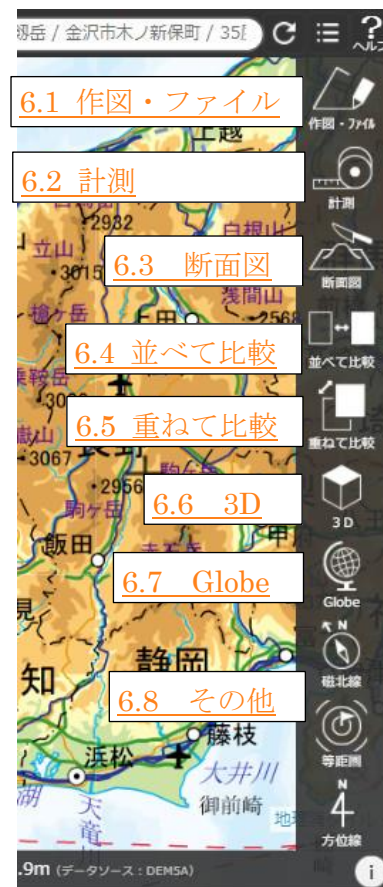
No.	名称	説明
①	経緯度グリッド	経緯度グリッドの表示／非表示を切り替えます。
②	UTM グリッド	UTM グリッドの表示／非表示を切り替えます。
③	タイル座標	タイル座標の表示／非表示を切り替えます。
④	地域メッシュ	地域メッシュの表示／非表示を切り替えます。
⑤	図郭	図郭の表示／非表示を切り替えます。ズームレベル 5～8 では 20 万分 1、9～10 では 5 万分 1、11～18 では 2 万 5 千分 1 図郭を表示します。

## 6. ツール

### PC版



### モバイル版



### 6.1 作図・ファイル

ツールの「作図・ファイル」をクリックすると、右図のような作図ウィンドウが表示されます。ファイルの読込・保存、作図の各操作は、作図ウィンドウで行います。

作図・ファイルパネルは、次の要素で構成されます。



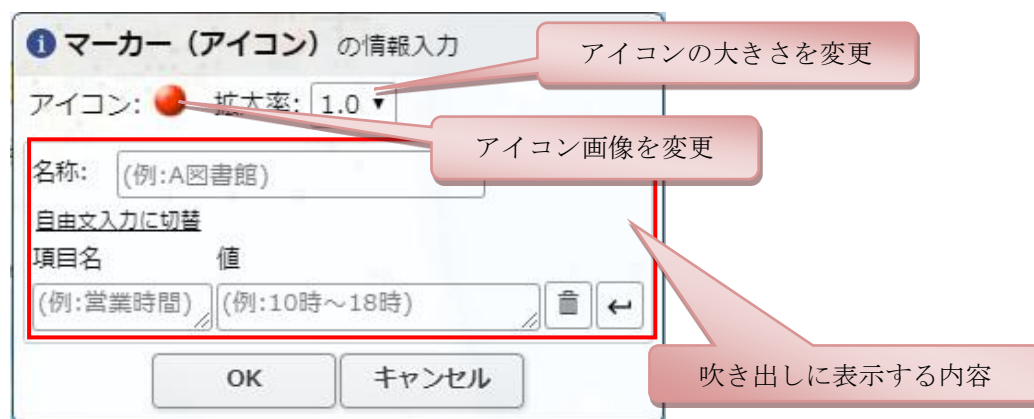
No.	名称	説明
①	マーカー (アイコン) を追加	点 (アイコン) を追加します。
②	マーカー (円) を追加	点 (円形マーカー) を追加します。
③	線を追加	線を追加します。

④	ポリゴンを追加	面（多角形）を追加します。
⑤	円を追加	面（円）を追加します。
⑥	テキストを追加	テキストを追加します。
⑦	フリーハンドで線を追加	フリーハンドで線を追加します。
⑧	ファイルからデータを読み込	ファイルを読み込み、表示します。
⑨	選択している情報をまとめて保存	作図情報をファイルに保存します。
⑩	作図・ファイル情報の管理	作図・ファイル情報の表示非表示や編集を行います。

### 6.1.1 マーカー(アイコン)を追加

次の手順で操作します。

- (1) 「マーカー (アイコン) を追加」ボタンをクリックします。
- (2) アイコンを配置したい場所を地図上でクリックすると、その場所にアイコンが配置されます。
- (3) マーカー (アイコン) の情報入力画面が表示されるので、アイコンのスタイルと吹き出しに表示する内容 (属性情報) を入力し「OK」ボタンをクリックします。吹き出しに表示する内容の入力の詳細については後述します (※3)。



- (4) 複数配置したい場合は(2)(3)を繰り返します。確定前に、「編集」「削除」を行えます。

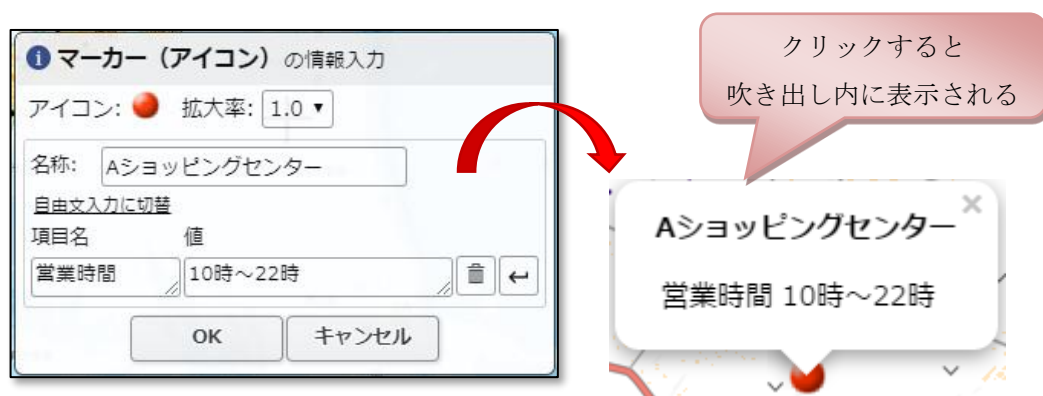


- (5) 「確定」ボタンをクリックすると、入力した情報に基づいてアイコンのスタイルと吹き出しの内容が確定されます。



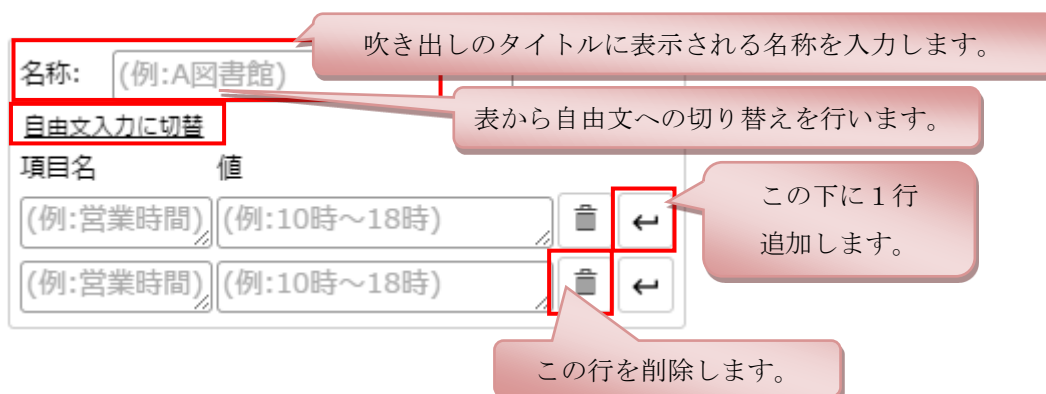
(※2) 吹き出しについて

点や線等のオブジェクトに属性情報を入力すると、地図上でそのオブジェクトをクリックした時に吹き出しの中に表示されます。

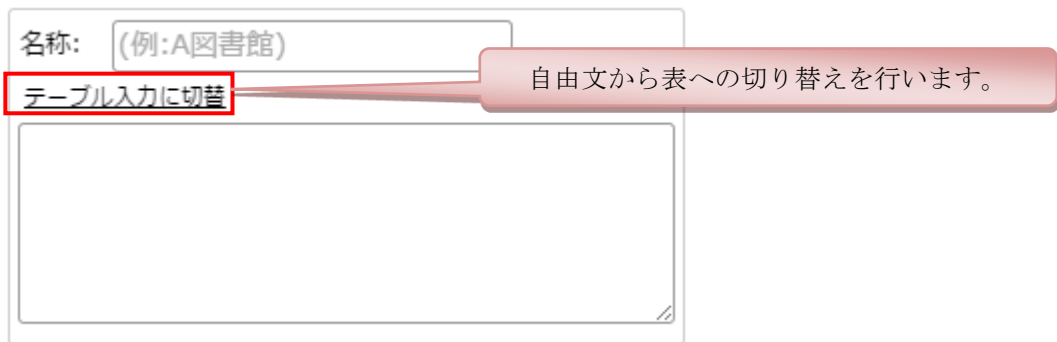


(※3) 吹き出しに表示する内容（属性情報）の編集について

オブジェクトを追加するとその編集画面が表示されます。下図のように、編集画面の下方で属性情報が編集できます。なお、項目名は重複しないように入力してください。







※アイコンのラベル表示内容切り替えについて

「アイコンのラベルを表示」チェックボックスを選択すると項目名のプルダウンリストが表示されます。ラベルに表示させたい項目名を選択するとラベルの表示内容が切り替わります。



初期表示は「name」（名称）となります。

一部のアイコンだけに存在する項目を選択した場合、当該項目が存在しないアイコンのラベルは非表示となります。



「定休日」項目が存在しない  
マーカーのラベルは表示され  
ません。

「定休日」項目が存在する  
マーカーのみラベルが  
表示されます。



### 6.1.2 マーカー(円)を追加

次の手順で操作します。

- (1) 「マーカー (円) を追加」ボタンをクリックします。
- (2) 中心点の位置でマウスの左ボタンを押下します。その状態でマウスポインタを移動するとポインタの位置を円周上の点とする円が追加され、マウスの左ボタンを離すことで円の半径 (px) が確定します。
- (3) マーカー (円) の情報入力画面が表示されるので、マーカー (円) のスタイルと吹き出しに表示する内容を入力します。吹き出し内容の編集についての詳細は「[6.1.1 マーカー \(アイコン\) を追加](#)」をご参照ください。

The image shows a configuration dialog box for a circular marker. It includes several input fields and sliders, each with a callout box explaining its function:

- 線の太さを指定**: Line thickness, set to 3px.
- 線の色を指定**: Line color, set to black.
- 線の種類を指定**: Line style, set to solid line (実線).
- 線の透過率を指定**: Line transparency, set to 50%.
- 塗潰し色を指定**: Fill color, set to red.
- 塗潰しの透過率を指定**: Fill transparency, set to 50%.
- 円の半径を px (ピクセル) で指定**: Radius, set to 85 px.
- 吹き出しに表示する内容**: Callout content, with a table for editing.

項目名	値
(例: 営業時間)	(例: 10時~18時)

Buttons: OK, キャンセル

- (4) 複数配置したい場合は(2)(3)を繰り返します。確定前に、「編集」「削除」を行えます。

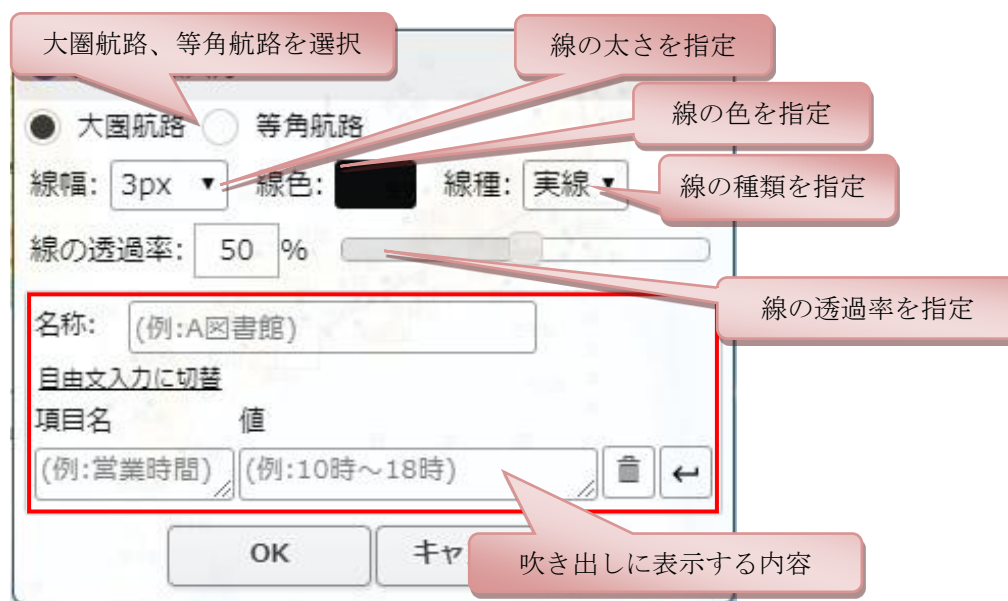


- (5) 「確定」をクリックすると、入力した情報に基づいてマーカー (円) のスタイルと吹き出しの内容が確定されます。

### 6.1.3 線を追加

次の手順で操作します。

- (1) 「線を追加」ボタンをクリックします。
- (2) 地図上の点をクリックしていくと、その順番に線がつながれます。  
※ 任意の地点を右クリックすると、直前の選択地点をキャンセルできます。
- (3) 最後の点でダブルクリックすると、線が確定し、線オブジェクトが作成されます。
- (4) 線の情報入力画面が表示されるので、線のスタイルと吹き出しに表示する内容を入力します。吹き出し内容の編集についての詳細は「[6.1.1 マーカー\(アイコン\)を追加](#)」をご参照ください。



- (5) 複数配置したい場合は(2)(3)(4)を繰り返します。  
確定前に、「編集」「削除」を行えます。



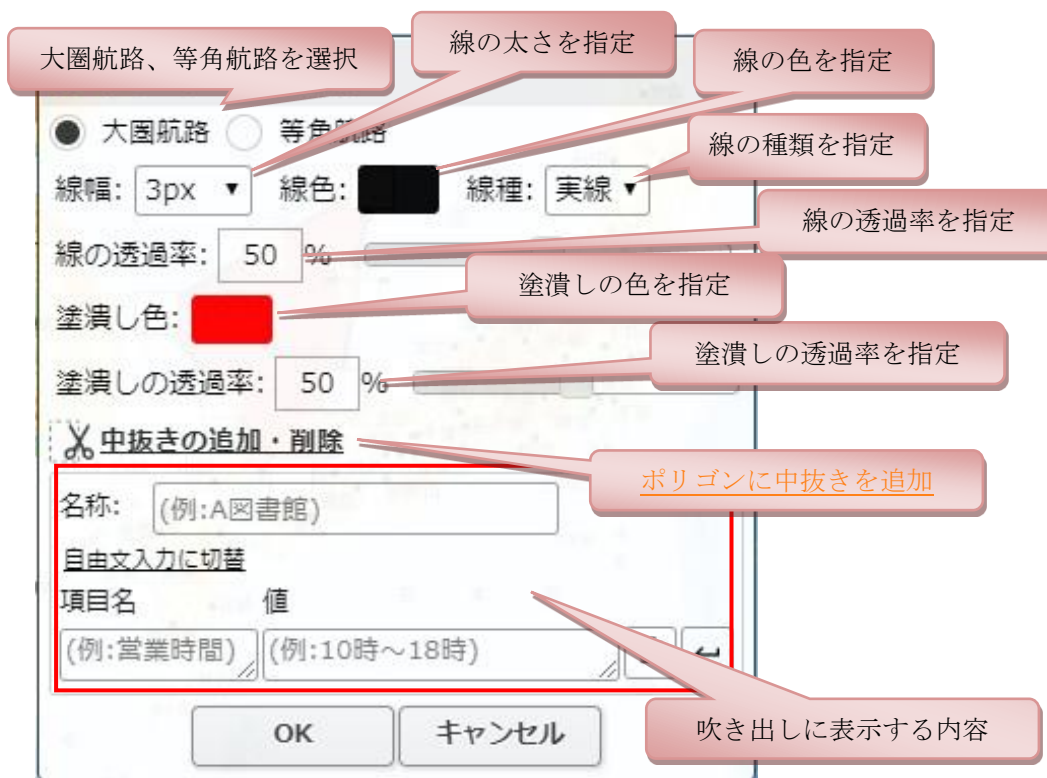
- (6) 「確定」をクリックすると、入力した情報に基づいて線のスタイルと吹き出しの内容が確定されます。

※「等角航路」の表示設定はファイルに保存されません。保存したファイルを読み込んだ後は、再度設定を変更する必要があります。

#### 6.1.4 ポリゴンを追加

次の手順で操作します。

- (1) 「ポリゴンを追加」ボタンをクリックします。
- (2) 地図上の点をクリックしていくと、その点を結ぶ多角形が形成されていきます。  
※ 任意の地点を右クリックすると、直前の選択地点をキャンセルできます。
- (3) 最後の点でダブルクリックすると、ポリゴンオブジェクトが作成されます。
- (4) ポリゴンの情報入力画面が表示されるので、ポリゴンのスタイルと吹き出しに表示する内容を入力します。吹き出し内容の編集についての詳細は「[6.1.1 マーカー（アイコン）を追加](#)」をご参照ください。



- (5) 複数配置したい場合は(2)(3)(4)を繰り返します。  
確定前に、「編集」「削除」を行えます。



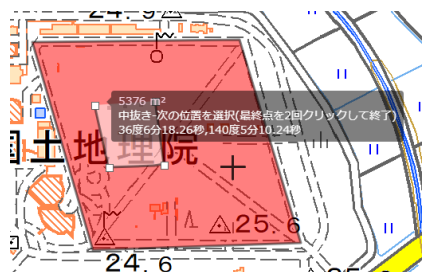
- (6) 「確定」をクリックすると、入力した情報に基づいてポリゴンのスタイルと吹き出しの内容が確定されます。

※「等角航路」の表示設定はファイルに保存されません。保存したファイルを読み込んだ後は、再度設定を変更する必要があります。

## ポリゴンに中抜きを追加

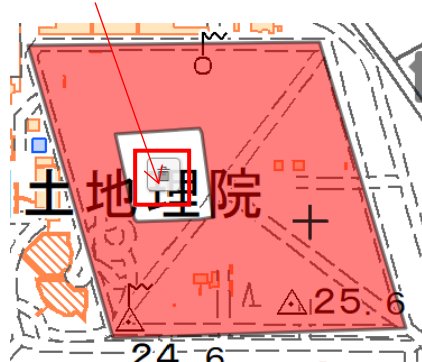
- (1) ポリゴンの内側の点をクリックしていくと、その点を結ぶ多角形が形成されていきます。

※ 任意の地点を右クリックすると、直前の選択地点をキャンセルできます。



- (2) 最後の点でダブルクリックすると、中抜きが作成されます。

※ 「削除」 ボタンをクリックすると、中抜きが削除されます。



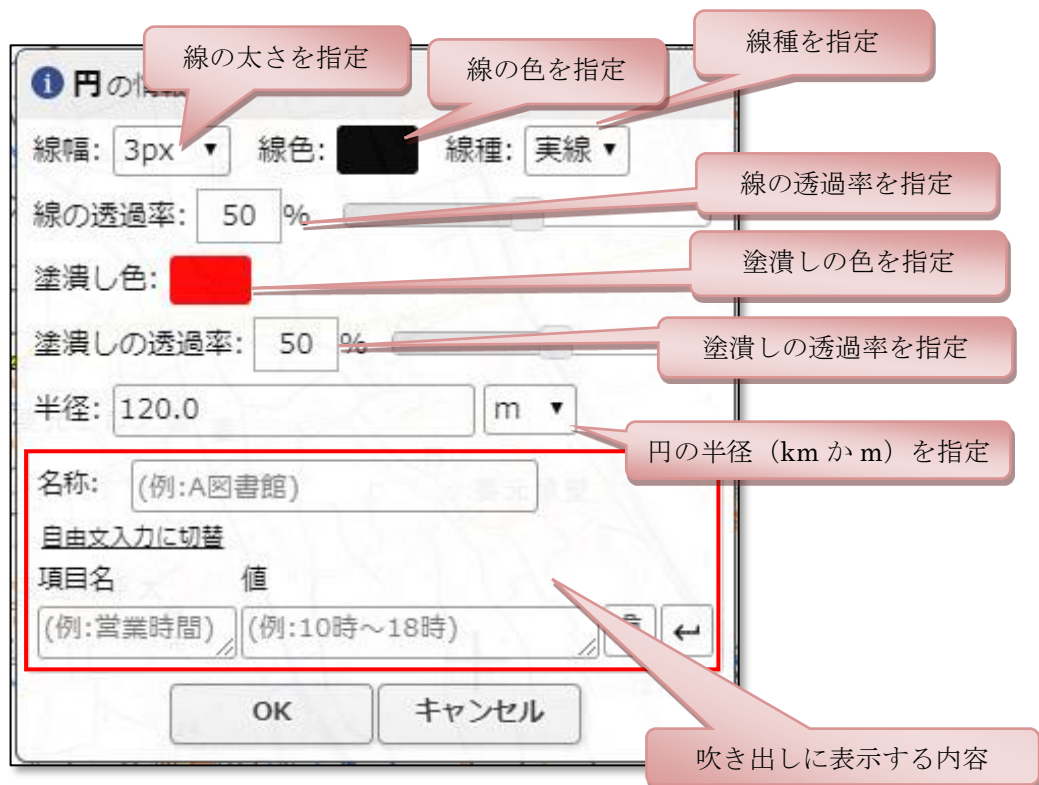
- (3) 「現在の状態で中抜きを確定」 ボタンをクリックします。



### 6.1.5 円を追加

次の手順で操作します。

- (1) 「円を追加」ボタンをクリックします。
- (2) 中心点の位置でマウスの左ボタンを押下します。その状態でマウスポインタを移動すると、ポインタ位置を円周上の点とする円が追加され、マウスの左ボタンを離すことで円の半径 (km か m) が確定します。
- (3) 円の情報入力画面が表示されるので、円のスタイルと吹き出しに表示する内容を入力します。吹き出し内容の編集についての詳細は「[6.1.1 マーカー \(アイコン\) を追加](#)」をご参照ください。



- (4) 複数配置したい場合は(2)(3)を繰り返します。  
確定前に、「編集」「削除」を行えます。



- (5) 「確定」をクリックすると、入力した情報に基づいて円のスタイルと吹き出しの内容が確定されます。

### 6.1.6 テキストを追加

次の手順で操作します。

- (1) 「テキストを追加」ボタンをクリックします。
- (2) テキストを配置したい場所を地図上でクリックします。
- (3) テキストの情報入力画面が表示されるので、テキストとスタイルと吹き出しに表示する内容を入力します。吹き出し内容の編集についての詳細は「[6.1.1 マーカー \(アイコン\) を追加](#)」をご参照ください。

No.	名称	説明
①	文字サイズ	文字サイズをプルダウンから選択します。
②	太字	文字を太くします (ON にすると枠が赤くなります)。
③	斜字	文字を斜めにします (同上)。
④	下線	文字の下に線を引きます (同上)。
⑤	文字の色	文字の色を指定します (同上)。
⑥	背景色	背景色を指定します (同上)。

- (4) (2)でクリックした場所にテキストが配置されます。
- (5) 複数配置したい場合は(2)(3)を繰り返します。  
確定前に、「編集」「削除」を行えます。



- (6) 「確定」をクリックすると、入力した情報に基づいてテキストのスタイルと吹き出しの内容が確定されます。



### 6.1.7 フリーハンドで線を追加

次の手順で操作します。

- (1) 「フリーハンドで線を追加」ボタンをクリックします。
- (2) 開始点の位置でマウスの左ボタンを押下します。その状態でマウスポインタを移動します。マウスの左ボタンを離すことで線オブジェクトが確定します。
- (3) 線の情報入力画面が表示されるので、線のスタイルと吹き出しに表示する内容を  
入力します。

情報の編集についての詳細は「[6.1.3 線を追加](#)」を、吹き出し内容の編集についての詳細は「[6.1.1 マーカー \(アイコン\) を追加](#)」をご参照ください。

- (4) 複数配置したい場合は(2)(3)を繰り返します。  
確定前に、「編集」「削除」を行えます。



- (5) 「確定」をクリックすると、入力した情報に基づいて線のスタイルと吹き出しの内容が確定されます。

### 6.1.8 ファイルから読込

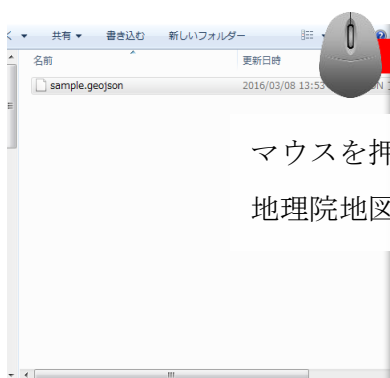
KML、GeoJSON、GeoTIFF または CSV ファイルを地図上に表示します。次の手順で操作します。読込んだ KML、GeoJSON または CSV ファイルは、「作図・ファイル」機能で編集することができます。詳細は 22 ページ (6.1 作図・ファイル) を参照してください。

- (1) 「ファイルからデータを読込」 ボタンをクリックします。

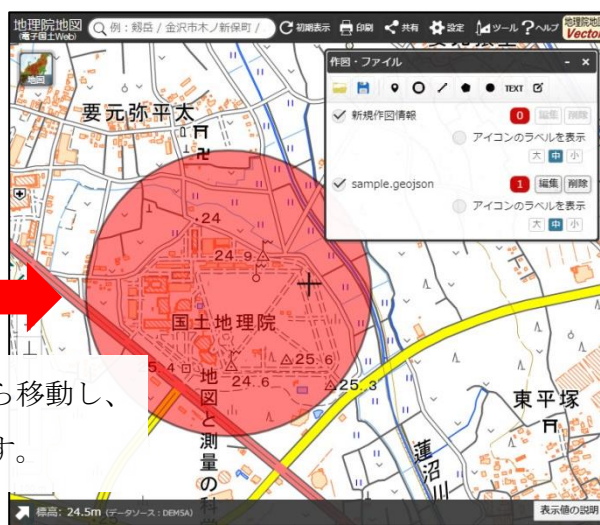


- (2) 読込ファイルを指定する画面が表示されます。読み込むファイルを選択したら、「開く」 ボタンをクリックします。
- (3) 「読込を開始」 ボタンをクリックします。

GeoJSON、KML、GeoTag 付き JPEG、CSV、GeoTIFF ファイルを地理院地図上にドラッグ&ドロップしても表示可能です。



マウスを押しながら移動し、地理院地図上で離す。



※KMP([https://maps.gsi.go.jp/help/pdf/14Mar2017\\_kmp.pdf](https://maps.gsi.go.jp/help/pdf/14Mar2017_kmp.pdf))に則っていないファイルは保存時に属性が削除されることがあります。

※GeoTIFF ファイルについては、一部の圧縮形式の場合や、画像サイズが大きい場合など、読み込めないものがあります。

※項目名が重複する場合、より後の値のみ表示・保存されます。

## ※CSV ファイルの読込について

緯度経度または所在地の住所が記述された CSV ファイルを読み込み、各地点にアイコンを表示します。緯度経度の情報がない場合、CSIS が提供するアドレスマッチングサービスを利用して、住所の情報からポイントデータを作成します。なお、表示結果は街区レベル(「〇〇町△丁目□番」)、大字・町丁目レベル、市区町村レベルの代表地点を指す場合があります、指定した住所の正確な地点を示すとは限りません。

表示されたアイコンの位置は、「作図・ファイル」ウィンドウから編集することもできます。詳しくは [6.1.11 作図・ファイル情報の管理](#) をご覧ください。

※「作図・ファイル」ウィンドウは、画面右上の「ツール」>「作図・ファイル」の順にクリックいただくと表示されます。

### ・先頭行に「緯度」「経度」の属性名がある CSV ファイルの読込

緯度と判定される属性名：「緯度」「lat」「latitude」

経度と判定される属性名：「経度」「lng」「lon」「longitude」

施設名,住所,緯度,経度

〇〇美術館,〇〇市××2 丁目-1-3,41.08852271,143.29854623

××公園,□□市〇〇1-4,42.04435897,139.3579051

...

※緯度経度の値は、下記の例のように度単位の十進数表記で入力してください。

例:「36.104444」

(「36 度 6 分 16 秒」等の度分秒表記には対応していません。)

The screenshot shows a dialog box titled "CSVファイル読込" (CSV File Import). It includes an "アイコン:" (Icon) field with a red circle icon and a "拡大率:" (Zoom) dropdown set to "1.0". Below this is the instruction "緯度及び経度の列を選択してください。" (Please select the latitude and longitude columns). A table displays the first five rows of data, with the first two columns highlighted. The table is as follows:

緯度	経度
緯度 ▼	経度 ▼
43.05512271	141.2964823
43.04435547	141.3562051
43.06025156	141.3304243
43.0615855	141.3328833
43.05147932	141.3074695

At the bottom of the dialog is a button labeled "上記の内容で読込開始" (Start import with the above content). Three callout boxes provide instructions: "アイコンと、拡大率を指定します。" (Specify icon and zoom), "緯度、経度の列を選択します。" (Select latitude and longitude columns), and "CSV ファイルを読込開始します。" (Start importing CSV file).

・先頭行に「住所」の属性名がある CSV ファイルの読込

住所と判定される属性名：「住所」「所在地」「addr」「address」

施設名,住所

〇〇美術館,〇〇市××2丁目-1-3,41.08852271,143.29854623

××公園,□□市〇〇1-4,42.04435897,139.3579051

...

CSVファイル読込

アイコン: 拡大率: 1.0 協力: 東大CSIS

住所の列を選択してください。

全5件中5件表示

住所
住所
〇〇市〇〇2丁目5-1
〇〇市□□1丁目1-1
〇〇市××7丁目2-3
〇〇市△△3丁目3-5
〇〇市▲▲8丁目5-2

上記の内容で読込開始

アイコンと、拡大率を指定します。

住所の列を選択します。

CSV ファイルを読込開始します。

## ・1行目に属性名がなく、緯度経度と思われるデータがある CSV ファイルの読込

〇〇美術館, 43.05512271, 141.2964823  
××公園, 43.04435547, 141.3562051  
□□小学校, 43.06025156, 141.3304243  
...

※緯度経度の値は、下記の例のように度単位の十進数表記で入力してください。

例: 「36.104444」

(「36度6分16秒」等の度分秒表記には対応していません。)

The screenshot shows the 'CSVファイル読込' (CSV File Import) dialog box. At the top, there is a field for 'アイコン' (Icon) with a red circle and a '拡大率' (Zoom) dropdown set to '1.0'. Below this is a text instruction: '緯度及び経度の列を選択してください。緯度及び経度の列がない場合は住所の列を選択してください。' (Please select the latitude and longitude columns. If there are no latitude and longitude columns, please select the address column). A table shows the first five rows of data with columns for '住所' (Address), '緯度' (Latitude), and '経度' (Longitude). The first row has 'なし' (None) for the address, and the following rows have numerical values. A '上記の内容で読込開始' (Start import with the above content) button is at the bottom. Three callout boxes point to the icon/zoom area, the table columns, and the start button.

アイコンと、拡大率を指定します。

住所、緯度、経度の列を選択します。

CSV ファイルを読込開始します。

## ・その他 CSV ファイルの読込

The screenshot shows the 'CSVファイル読込' (CSV File Import) dialog box. At the top, there is a field for 'アイコン' (Icon) with a red circle and a '拡大率' (Zoom) dropdown set to '1.0'. A blue link '協力: 東大CSIS' (Cooperation: Keio University CSIS) is visible. Below this is a text instruction: '住所の列を選択してください。' (Please select the address column). A table shows the first five rows of data with a '住所' (Address) column. The first row has '2列目' (Column 2) selected, and the following rows have address strings like '〇〇市〇〇2丁目5-1'. A '上記の内容で読込開始' (Start import with the above content) button is at the bottom. Three callout boxes point to the icon/zoom area, the address column, and the start button.

アイコンと、拡大率を指定します。

住所列を選択します。

CSV ファイルを読込開始します。

### 6.1.9 外部からの読込

外部サーバに配置されている KML、GeoJSON ファイルを地図上に表示します。読込んだ KML、GeoJSON ファイルは、「作図・ファイル」機能で編集することができます。詳細は (6.1 作図・ファイル) を参照してください。

※外部サーバ側の設定によっては読み込めない場合があります。

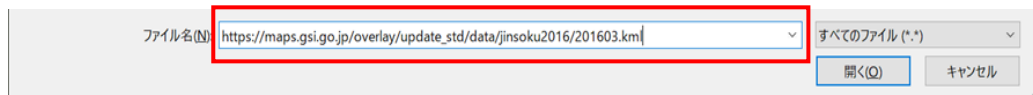
- アドレスバーに外部ファイル URL を入力  
地理院地図 URL の末尾に下記を入力し Enter ボタンを押下。  
最大 5 つ同時に読み込むことが可能です。



- ファイルからデータを読込にて外部ファイル URL を入力  
(1) 「ファイルからデータを読込」 ボタンをクリックします。



- (2) 読込ファイルを指定する画面が表示されます。ファイル名に外部ファイル URL を入力し、「開く」ボタンをクリックします。



- (3) 「読込を開始」 ボタンをクリックします。

### 6.1.10 選択している情報をまとめて保存

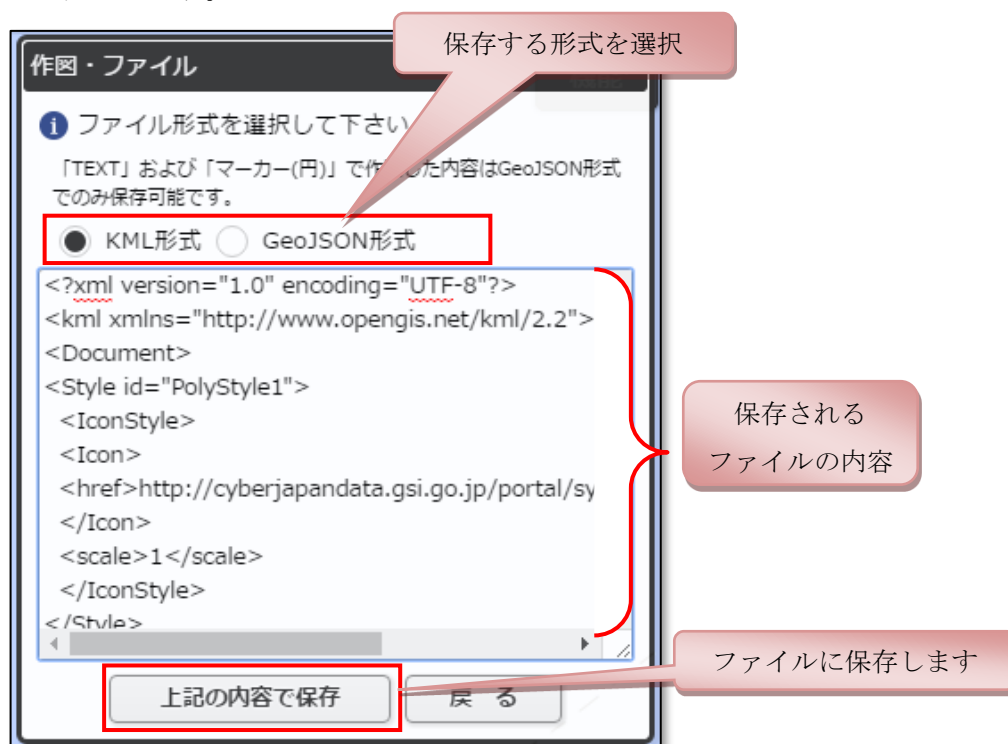
作図機能を使って作成した作図情報をファイルに保存します。

次の2通りの形式で保存できます。

- ・ KML 形式
- ・ GeoJSON 形式

次の手順で操作します。

- (1) KML 形式又は GeoJSON 形式を選択します。
- (2) テキストエリアに表示された内容でよろしければ「上記の内容で保存」ボタンをクリックします。



※ テキスト、マーカー（円）は GeoJSON 形式でのみ保存することができます。

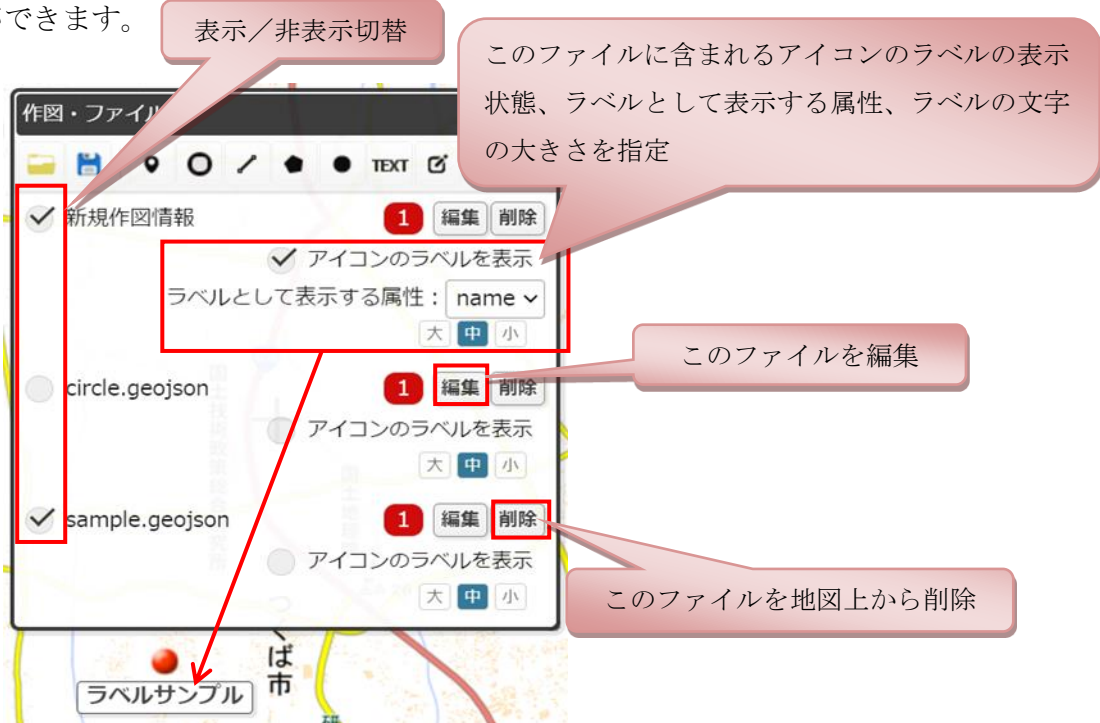
※ GeoJSON 形式で保存時に<altitudeMode>、<altitude>等の KML 固有の要素は削除されます。

※ ブラウザによっては、「上記の内容を保存」ではなく「クリップボードにコピー」と表示される場合があります。「クリップボードにコピー」をクリックすると枠内のテキストがコピーされるので、適当なテキストエディタを開いて貼り付け、「ooo.kml」（KML 形式の場合）または「ooo.geojson」（GeoJSON 形式の場合）というファイル名で保存してください。

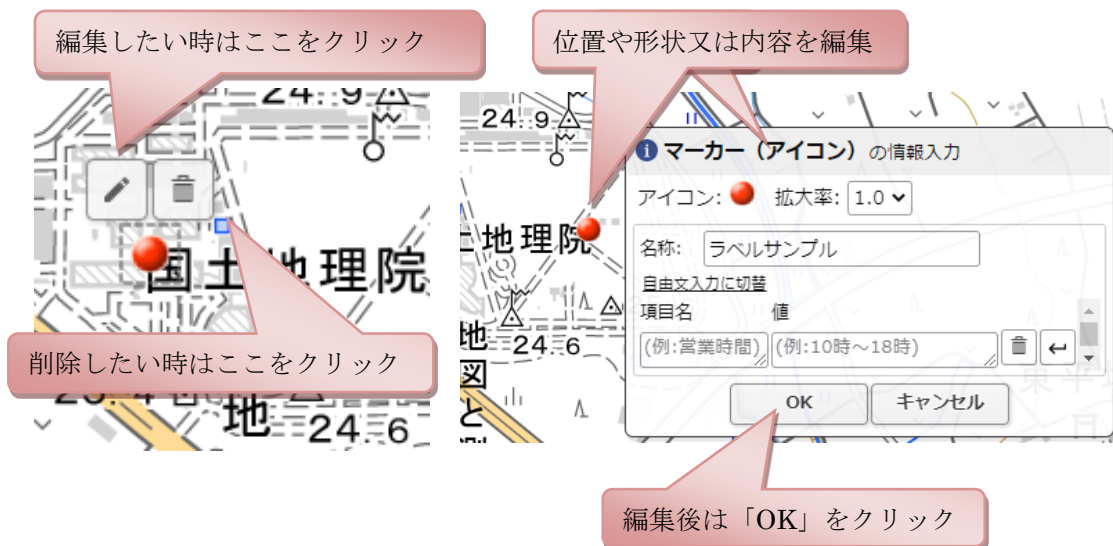
### 6.1.11 作図・ファイル情報の管理

ファイル名の左側のチェックボックスのチェックのつけ外しにより、その内容の地図上への表示／非表示を切り替えることができます。

また、ファイル名の右側にある削除ボタンをクリックすると、一覧から削除することができます。



ファイルの内容を編集する時は、ファイル名の右側にある「編集」ボタンをクリックし、編集するオブジェクトを選択して編集を行います。





## 6.2 計測

### 6.2.1 距離の計測

距離が選択された状態で、地図上の地点をクリックしていくと、その地点を順番に結んだ線分の距離が表示されます。地点を確定させるには、最後の地点をダブルクリックします。



※任意の地点を右クリックすると、直前の選択地点をキャンセルできます。

※計測機能についての詳細は以下のマニュアルをご覧ください。

【地理院地図で距離を計測する方法】

[https://maps.gsi.go.jp/help/pdf/GSIMaps\\_measurement.pdf](https://maps.gsi.go.jp/help/pdf/GSIMaps_measurement.pdf)

### 6.2.2 面積の計測

面積が選択された状態で、地図上の地点をクリックしていくと、その地点を囲む多角形の面積が表示されます。多角形を確定させるには、最後の地点をダブルクリックします。



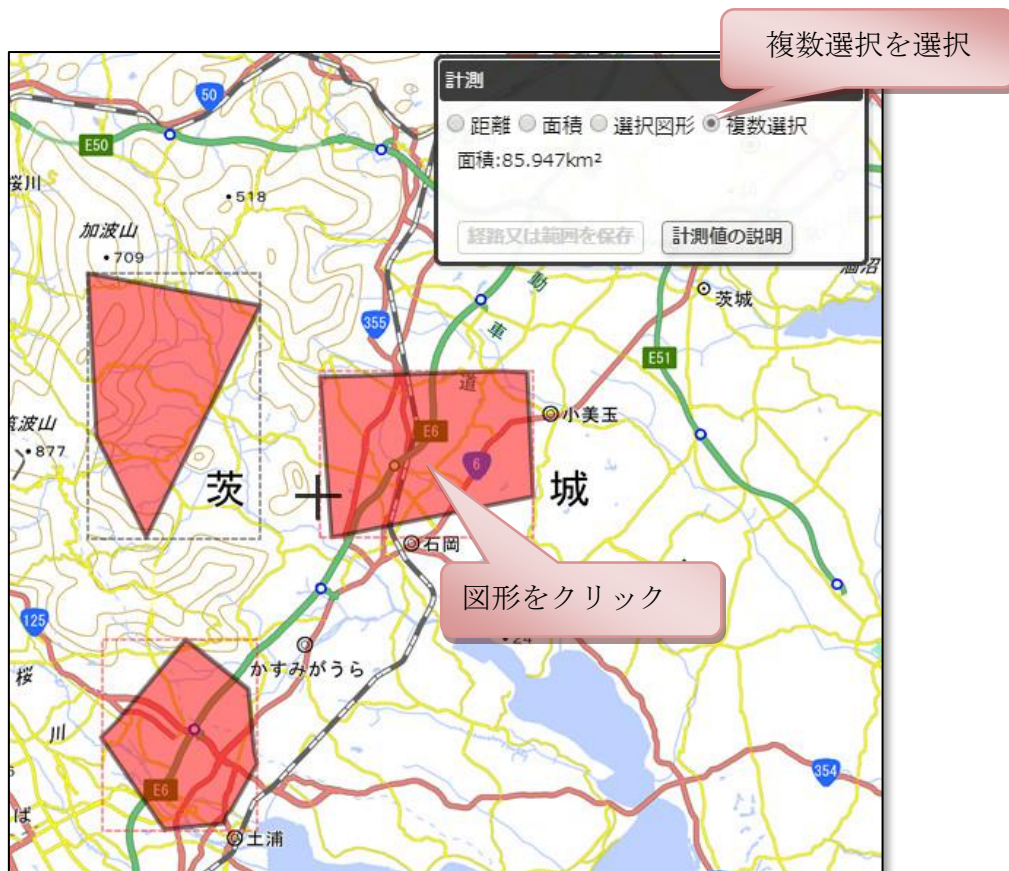
### 6.2.3 選択図形の計測

「選択図形」が選択された状態で、地図上の図形をクリックすると、その距離又は面積が表示されます。



### 6.2.4 図形を複数選択して計測

「複数選択」が選択された状態で、地図上の図形を複数クリックすると、その面積の合計が表示されます。



### 6.3 断面図

指定した経路の断面図を表示します。

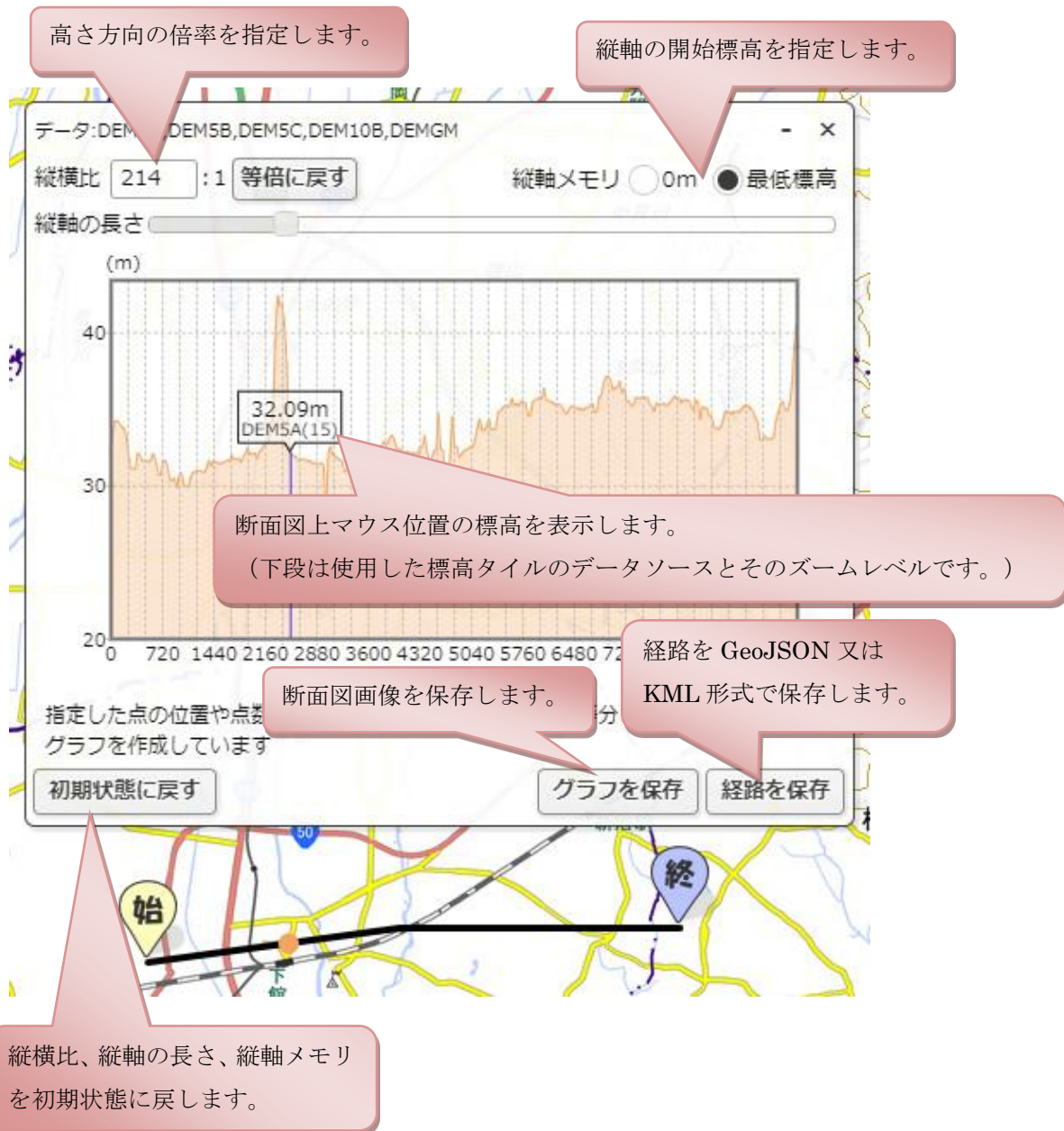


オプションをクリックし、断面図に使用するデータは選択します。



## 断面図画面

※水平方向は地球が回転楕円体であることを考慮した距離です。



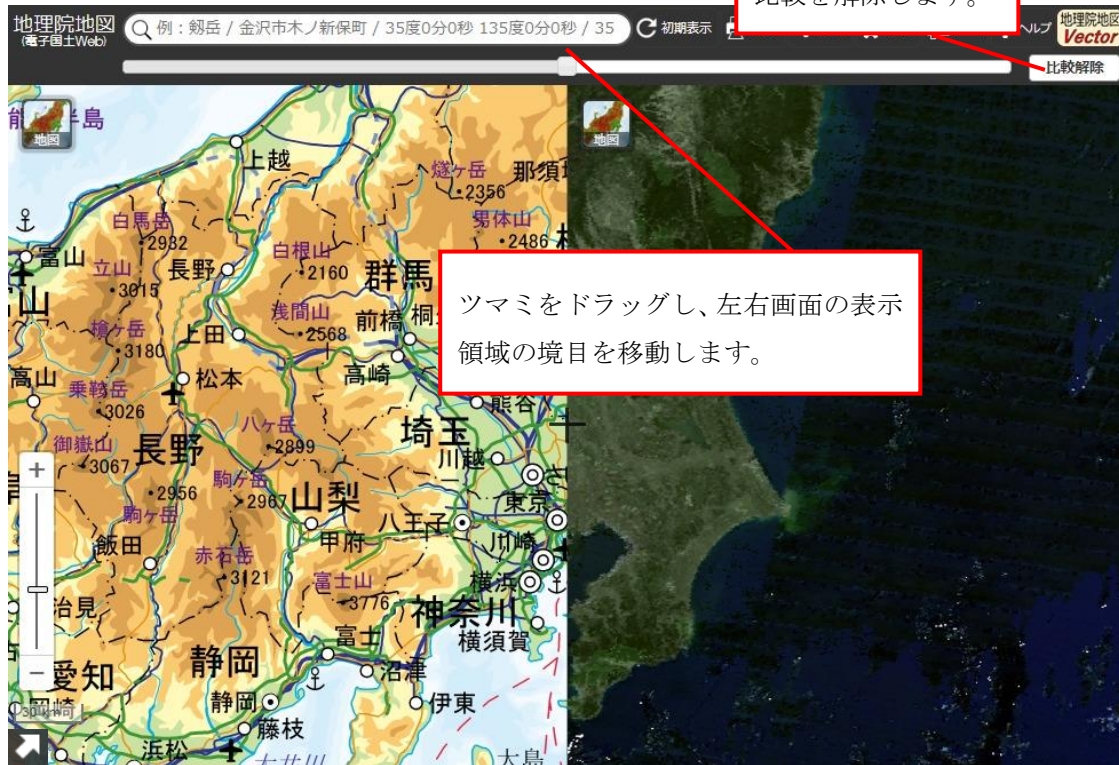
## 6.4 並べて比較

地図を2画面表示します。



## 6.5 重ねて比較

地図を重ねて比較します。



## 6.6 3D

表示されている地図を 3D で表示します。

地理院地図で重ね合わせて表示しているレイヤの他、「作図・ファイル」機能で作図したデータや読み込んだデータも 3D 表示されます。また、表示した 3D データのダウンロードも可能です。

### 6.6.1 3D 表示

前述の「情報」ボタンや「作図・ファイル」機能により、3D 表示したい状態を作成し、「3D」をクリックします。

「大 (2048×2048)」は表示範囲の中心を 3D モデルの中心とした 2048px×2048px の範囲、「小 (1024×1024)」は 1024px×1024px の範囲が 3D 表示されます。

また、「カスタム」は地図上の指定した範囲、又は入力した緯度経度、大きさの範囲が 3D 表示されます。

※ 標高データは標高タイル (<https://maps.gsi.go.jp/development/ichiran.html#dem>) を間引いたメッシュのデータを利用しています。

The image shows a screenshot of a web application interface for displaying 3D terrain data. On the left, a map view shows a red rectangular selection box over a terrain area. A callout bubble points to this box, stating: 「大 (2048×2048)」または「小 (1024×1024)」をクリック. Below the map, there are three buttons: 「大」 (with dimensions 縦横2048px 縦横1024px), 「小」, and 「カスタム」. A second callout bubble points to the 「カスタム」 button, stating: 範囲を指定して 3D を表示する場合は「カスタム」をクリック. To the right of the map is a vertical toolbar with icons for 「並べて比較」, 「重ねて比較」, and 「3D」. A third callout bubble points to the 「3D」 icon, stating: 3D モデルは以下の操作が可能です。左ドラッグ：モデルを回転。右ドラッグ：視点(回転の中心)を変更。マウスホイール：拡大・縮小. Below the main interface is a smaller window showing a 3D terrain model of a mountain range. At the bottom of this window, there are download options for different file formats: STLファイル, VRMLファイル, and WebGL用ファイル, each with a 「ダウンロード」 button.

## カスタム (3D 表示する範囲指定) について

「範囲を固定」「大きさを固定」して 3D 表示する範囲を指定します。

3D 表示する範囲を拡大・縮小します。

「範囲を固定」選択時は、3D 表示する範囲の緯度経度を入力します。

3D 表示する範囲をドラッグして移動します。

左上の緯度経度、右下の緯度経度、大きさを指定します。  
「OK」ボタンをクリックすると、3D 表示を開始します。

「大きさを固定」選択時は、3D 表示する大きさを入力します。

範囲を固定  大きさを固定

大きさ: 256 × 256

緯度: 36.267529 ~ 36.409126

経度: 140.068817 ~ 140.244598

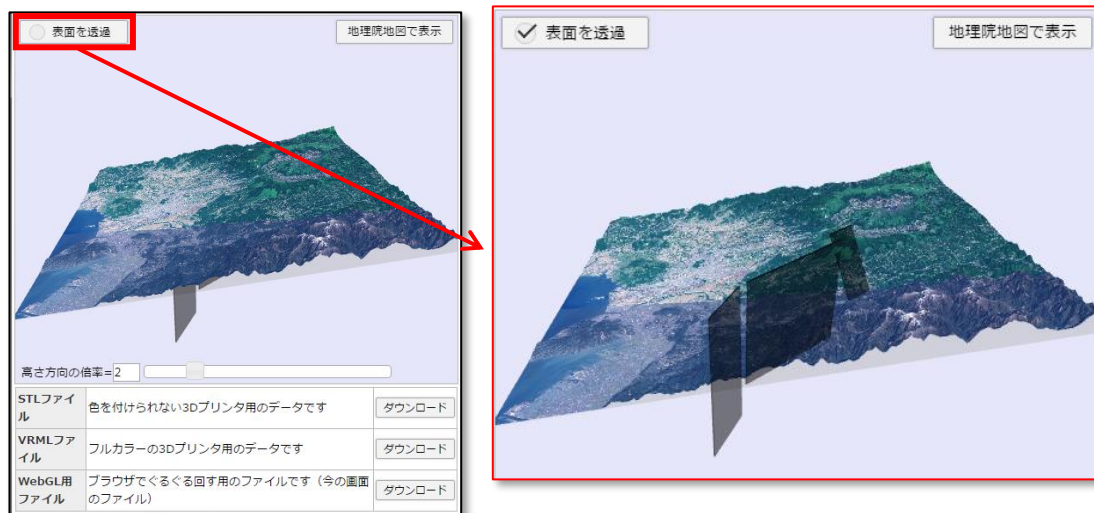
OK

※STL ファイルまたは VRML ファイルをダウンロードする場合は、「カスタム」で指定する大きさを 128 の倍数の正方形の大きさ（例えば、384×384 や 512×512 など）で出力してください。

### 3D 表示画面について

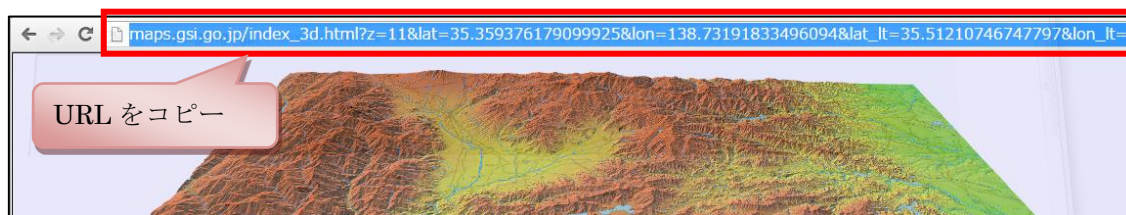


高さ情報を持った KML を表示した場合、「表面を透過」チェックが表示されます。チェックを付けると表面が透過します。



また、3D 表示ページのアドレスバーの URL をコピーすることで、3D の表示状態を再現することができます。

※ 「作図・ファイル」機能で表示した内容は、URL には反映されません。





## 6.6.2 3D データのダウンロード



各ダウンロードボタン (STL ファイル、VRML ファイル、WebGL 用ファイル、OBJ ファイル) をクリックすると、それぞれのダウンロードウィンドウが表示されます。

目的に応じたファイルをダウンロードしてください。

### 6.6.2.1 STL



3D プリンタ印刷用 (材料色用) のデータです。

立体模型を造形する場合は、dem.stl をご利用ください。

### 6.6.2.2 VRML



3D プリンタ印刷用 (フルカラー用) のデータです。立体模型を造形する場合は、dem.wrl と texture.png をご利用ください。

(画像のワールドファイル※「texture.pgw」もダウンロード可能です)

※ GIS ソフトで入力する際の EPSG コードは「3857」を指定してください。

このワールドファイルは簡易に作成されたファイルですので、参考程度にお使いください。



### 6.6.2.3 WEBGL

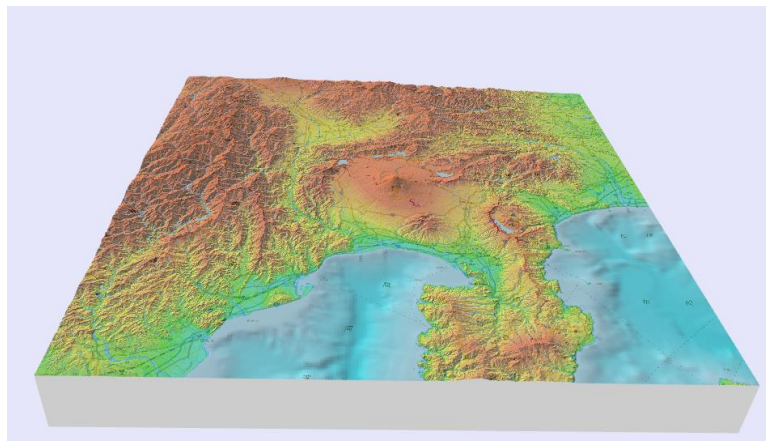
HTMLファイル	index.html	ダウンロード
標高ファイル	dem.csv	ダウンロード
テクスチャ画像	texture.png	ダウンロード
ワールドファイル	texture.pgw	ダウンロード

ウェブブラウザでの 3D 表示用のデータです。  
index.html, dem.csv, texture.png をダウンロードして、ウェブサーバ上の同一フォルダ（ディレクトリ）に配置し、index.html をウェブブラウザで開いてください。

（画像のワールドファイル※「texture.pgw」もダウンロード可能です）

※ GIS ソフトで入力する際の EPSG コードは「3857」を指定してください。

このワールドファイルは簡易に作成されたファイルですので、参考程度にお使いください。

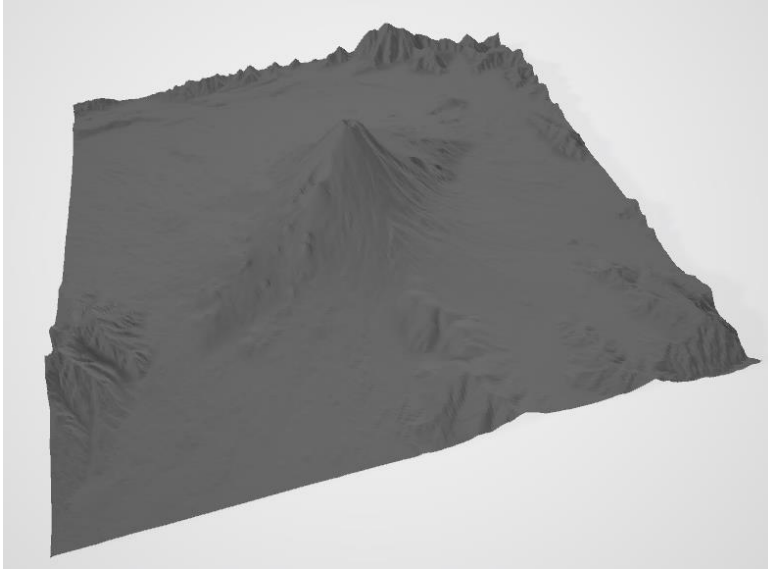


※ texture.png は、通常の画像ファイルです。ペイントなどの描画ソフトで開き、線や文字を書き込んでオリジナル立体図を作成することも可能です。

#### 6.6.2.4 OBJ



他の3Dビューアーで開くことのできる形式のデータです。



## 6.7 GLOBE

表示されている地図を地理院地図 Globe で表示します。

地理院地図 Globe の詳細については <https://maps.gsi.go.jp/globe/> をご覧ください。

## 6.8 その他

その他の機能を利用するためのメニューを表示します。



No.	名称	説明
①	磁北線	磁北線の表示／非表示を切り替えます。
②	等距圏	等距圏の表示／非表示を切り替えます。 ※等距圏：地球が回転楕円球であることを考慮した、指定した地点からの等しい距離を表す円
③	方位線	方位線の表示／非表示を切り替えます。 ※方位線：地球が回転楕円球であることを考慮した、指定した地点からの方位を表す線
④	その他の地図	<a href="#">6.8.1 その他の地図</a> 参照
⑤	場所情報コード	<a href="#">6.8.2 場所情報コード</a> 参照
⑥	外部タイル	<a href="#">6.8.3 外部タイル</a> 参照

### 6.8.1 その他の地図

現在表示している場所を、そのまま他ウェブ地図サイトで見ることができます。「その他の地図」をクリックすると、下図の通り、ウェブ地図サービスのリンクが表示されます。このリンクをクリックすると、別のウィンドウで確認ページが表示された後、自動的に選択されたウェブ地図サービスが表示されます。



 国土交通省  
国土地理院  
Geospatial Information Authority of Japan

---

**ご確認**

5秒後に外部のウェブサイトに移動します。自動的に移動しない場合は下記URLをクリックしてください。

<http://www.mapion.co.jp/m2/36.32065774818664,140.31532287597656,11>

**ご注意**

リンク先のウェブサイトは、国土地理院のウェブサイトではなく、国土地理院の管理下にはないものです。  
リンク先のウェブサイトについては、リンク先の組織・団体等にご確認ください。

※自動的に移動しない場合は、表示されている URL をクリックして下さい。

### 6.8.2 場所情報コード

現在表示している地図の中心位置の場所情報コードを表示します。

※ 場所情報コードについては、<https://www.gsi.go.jp/sokuchikijun/uPlace.html> をご確認ください。

### 6.8.3 外部タイル

URL を指定もしくはレイヤ定義ファイルを選択して外部サイト上のタイルデータを読み込むことができます。読み込み可能なタイルは、HTTPS サイトにある地理院タイル仕様 (<https://maps.gsi.go.jp/development/siyou.html>) と同様の XYZ 方式です。この方式で配信されているデータは、G 空間情報センター (<https://www.geospatial.jp/>) 等で検索することができます。なお、外部タイルを読みこむ際は、当該タイルデータの利用規約に基づき適切にご利用ください。

外部タイル URL 例 :

<https://tile.geospatial.jp/nankaitrough/sindobunpu/{z}/{x}/{y}.png>

(G 空間情報センター : 内閣府「南海トラフの巨大地震モデル検討会」強震断層モデル (1)データセット A 震度の最大値の分布図)

(任意) レイヤ名を指定します。

(必須) タイルの URL を入力します。

(任意) 「オプション」をクリックし、南西原点 (デフォルトは北西原点)、minZoom、maxZoom、maxNativeZoom を指定します。

外部タイルの設定をレイヤ定義ファイル形式で保存します。  
※ここで保存したファイルを読み込めます。

## 7. コンテキストメニュー(住所, 経緯度, 標高, UTM ポイントの表示)

地図の中心地点の情報(住所, 経緯度, 標高, UTM ポイント)と、表示している地図のズームレベルを表示します。



項目	説明
住所	地図の中心付近の住所です。
○度○分○秒 ○度○分○秒	地図の中心の緯度・経度が「度」「分」「秒」単位で表示されます。
○.○, ○.○	地図の中心の緯度・経度が「度」の十進表記で表示されます。
ズーム	表示している地図のズームレベルです。
UTM ポイント	地図の中心の UTM ポイントです。
標高	地図の中心の標高値です。
湖水深(湖底標高、基準水面標高)	湖水深(湖底標高、基準水面標高)です。 (湖沼データが表示されている時のみ)
全国最新写真(シームレス)撮影期間	全国最新写真(シームレス)撮影期間です。 (全国最新写真(シームレス)が表示されている時のみ)

表示値について、詳しくは以下のページをご覧ください。

「地理院地図で得られる値等について」 <https://maps.gsi.go.jp/help/howtouse.html>

## 8. 自分で作る色別標高図

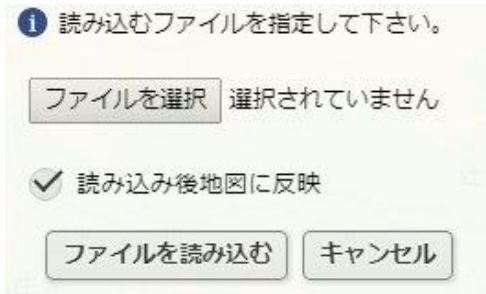
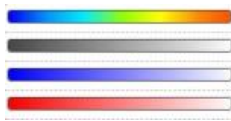
情報リストから「自分で作る色別標高図」を表示します。設定アイコンをクリックしてスタイルを編集できます。



スタイルの編集

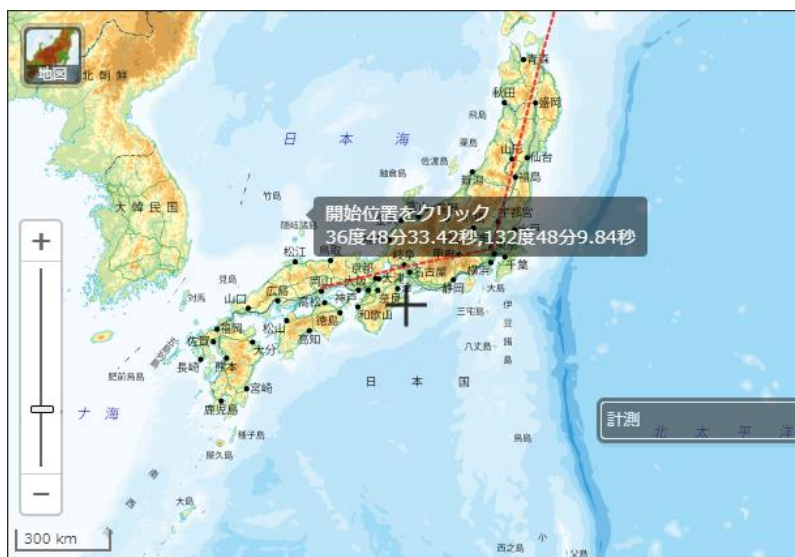
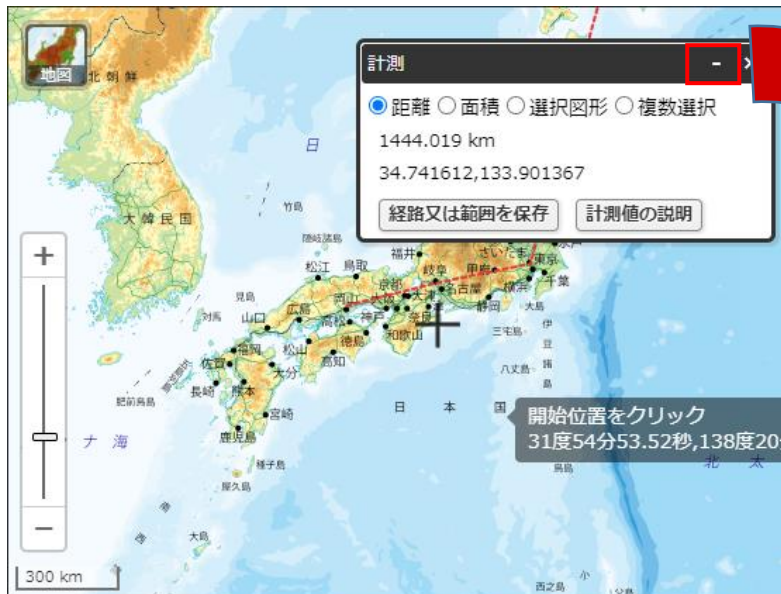




No.	名称	説明
①	ファイル読込	②で保存したファイルを読み込みます。 
②	ファイル保存	現在のスタイルをファイルに保存します。
③	凡例保存	現在のスタイルを凡例画像として保存します。 ※保存場所が選択できない場合は、ブラウザの設定を確認してください。
④	自動作成	表示範囲の最低標高と最高標高から自動で色分けします。
⑤	低い範囲を表示	画面中央の標高より低い範囲を自動で着色します。
⑥	初期状態に戻す	現在のスタイルを破棄し、読込時の初期状態に戻します。
⑦	標高しきい値入力	しきい値となる値を入力します。
⑧	色の選択	色を選択します。
⑨	行の削除	行を削除します。
⑩	行の挿入	行を挿入します。 ※前後の行の色を基に自動で色を決定します。前後の行の色が「透明」の場合は挿入できません。
⑪	グラデーション	グラデーションを付けます。
⑫	陰影	陰影起伏図を利用し陰影を付けます。 ※日本周辺のみ対応
⑬	地図に反映	現在のスタイルを地図に反映します。
⑭	降順に並べる	降順に並べ替えます。
⑮	カラーパターン	 カラーパターンから選択します。

## 9. ウィンドウの最小化

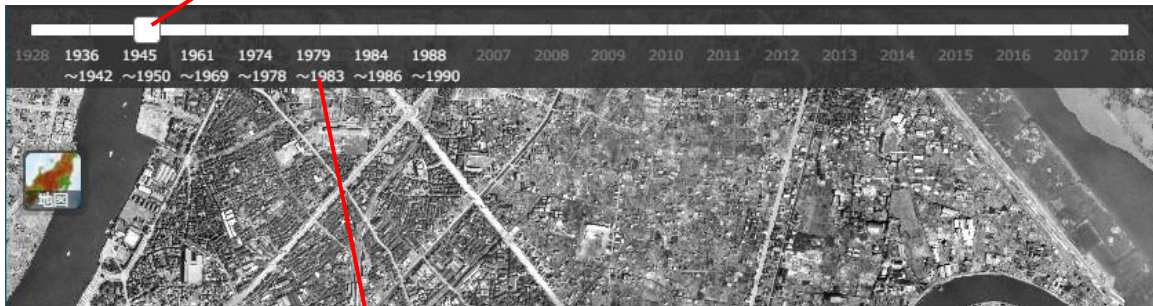
ウィンドウの最小化ボタンをクリックすると、画面右下にボタンとして表示されます。最小化されたボタンをクリックすると、元の表示に戻ります。



## 10. 空中写真の時系列切替え表示

情報リストから「時系列表示」を表示し、年代別写真をスライダーで切り替えます。

つまみをドラッグして移動し年代  
を選択します。



表示する年代をクリックすると、写真が表示  
されます。  
(写真が存在しない年代は、グレーアウトさ  
れます。)